

令和5年度 第2回 中能登町立中能登中学校 学校運営協議会 議事録

| | |
|--------|---|
| 【日 時】 | 令和5年11月15日(水) 11:30~12:40 |
| 【会 場】 | 中能登町立中能登中学校 |
| 【出席者】 | 大西保・岡下哲也・加賀賢成・木村実貴絵・高橋加奈美・鳥木教文 水谷内良郎 中能登中学校校長 (50音順) |
| 【事務局】 | 中能登町教育委員会 大野知子 |
| 【次回予定】 | 令和6年1月もしくは2月末 |

進行：大野

1. 事前参観 総合学習の授業の見学（前半部分だけ評価者として全員参加）

2. 報告事項 前期学校の状況 水谷内委員より報告
質疑 特になし

3. 協議事項

中能登町と中能登中学校との地域のかかわり方について

中能登町は10年前に3校区を統合した比較的新しい学校であり、地域と学校の繋がりについては、これからの学校である。他市町の特徴ある地域と学校の連携事例などを参考としながら、地域との学校との関わり合いについて改善のアイデアを出し合った。

(1) 中能登中学校でできる地域のかかわり方

・中能登しごと館

中能登町にいる人の仕事に対する思いや願いが活きるイベントであったと思う。

YouTube など普段会えないような職業の話聞いたのはよかったと思う。

生徒の希望アンケートをベースにいろいろな職業の方にお話しただけなのは良かった。

生徒の希望を元に探せたのは良かった。「中能登町にはこういう仕事もあるよ」という情報を生徒に提供できるような職業も紹介できればいい。

町にある大きな企業の方たちや製造業の方たち（織物企業など）に参加いただくのはどうか。

大きな企業はスケジュールがとりにくいかも。高校でも同じようなことをしていると聞くので、中高合同でお願いするのはどうか。

・総合学習の授業と地域の関わり

かほく市の「高松ぶどう」や穴水町の「能登ワイン」のように強い地域色のある資源というのがあまり浮かばない。地域の魅力と結びつけるのは別で地域との繋がり方を考えてもいいのでは。

→総合学習の授業の課題（ミッション）を1年生から3年生まで続け、最終的に町に意見として提言する「子ども議会」という形はどうか。

観光協会が推進している「どぶろく」を取り上げてみるのも面白いと思う。

・4月の初めに生徒に「こんな中能登町だったらいいな」という生徒にアンケートをとるなどして、そこから総合学習のテーマに持っていくのはどうか。町に子どもの意見を吸い上げてもらう。

・子どもは町のことを知っているようで知らない。子どもなりに出した意見に対し、現実を知る大人の批評、指摘を受けることができたのはよかった。これからも継続できればと思う。

→ 総合学習の授業にミッションや評価を与える形で地域がこれからも関わっていく。

・次回の課題 1月~2月末頃

1年生の総合学習について、2年生以降の授業にコミュニティスクールとしてどう関わるかの企画。
来年度の新1年生の総合学習に地域として関わるための具体的な企画案。